



平成 30 年度千葉県登録調査員研修に参加して (参加者 2 名 様より)

残暑厳しい 8 月 20 日、千葉県商工会議所の研修室は 70 名程の調査員で満席でした。私は、平成 27 年の国勢調査にて登録調査員となりました。その後、経済センサスに携わりました。今回の研修には、本年度に登録調査員となった主人と共に出席しました。まず「統計調査について」の講義を受けました。資料の表紙に記されていました『活かせ統計、未来の指針』の言葉が今も心に残っています。これは、平成 30 年度統計の日の標語です。統計調査員からの応募作品が選ばれたことは、調査員としての実践目標となります。次に、「接遇・話し方について」の講義を受けました。講師は日本旅行の方で、調査に携わる者の心構えとして、第一印象の重要性を具体的に説明してくださり、よく理解できました。その後、オンライン調査の実習を二人で行いました。私は PC 操作は得意ではありませんが、主人は専門職でしたので電子調査票入力は、問題なく終わることができました。最後は、班別意見交換の時間でした。私以外は、本年度に登録調査員となった方々でしたので、「調査拒否世帯の経験とその対応」についての体験談をお伝えしました。他の班からの討議内容の発表は、解決事例もあり大変参考になりました。統計調査の必要性から始まり、統計調査への協力を得るために理解を深め合う時間は、とても充実していました。今回の研修で学んだことを今後の調査員業務に発揮できるよう努めていきたいと思います。

平成 30 年度住宅・土地統計調査員を終えて (高本 司 様より)

今回、調査員として携わり、その中で感じたことを述べます。最初に市原市民会館にて、担当者から調査の仕方及びスケジュール、調査員としての心得について説明を受けました。調査員はほとんどが高齢者で、途中で聞く耳を持たなくなったり、説明を受ける姿勢とは感じられない方もいました。会場で配布された資料は、時間をかけて確認しなければ理解が難しいもので、疑問点は担当者に質問してからでないと、現場に向いた時にお相手に納得していただけません。各対象世帯に訪問すると、調査の協力をお願いしても協力していただけないことが多いのが現状でした。しかし、インターネットで回答していただいた方は、とても協力的で理解も得やすかったです。今後の調査に向けては、電子媒体による調査をより深度化することが急務ではないかと思いました。

第 68 回全国統計大会に参加して (秋元 隆夫 様より)

調査員の皆様、こんにちは。私は主に有秋支所管内を中心に調査員活動を行っております。昨年の住宅・土地統計調査お疲れさまでした。今回私は審査の担当でした。空き家・独居の増加、少子高齢化などの課題について、今回の結果を今後の施策に活かしていただきたいです。さて、11 月 19 日(月)に東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた全国統計大会に 8 名で参加しました。主催者挨拶、各種表彰受賞者謝辞の後、統計グラフコンクール入賞者の発表が行われました。中でも小学校 2 年生の「ランドセルの重さ」についての発表は興味深く感じました。最近、各方面からランドセルが重く子供への負担ではないかとの声が多く、この発表は新聞にも取り上げられ、高い評価を得ました。終了後は入口で記念写真を撮り、帰路につきました。貴重なお話をいただき、感謝です。最後に、皆様とは今後も健康に留意し、共に活動していきたい思いで一杯ですので、よろしく願い申し上げます。



(参加者の皆様)

千葉県統計功労者表彰を受賞して

(経済産業大臣表彰 受賞者 伊藤 秀夫 様より)

今から 25 年前、市原市の広報紙に掲載されていた統計調査員募集記事に目が留まり、応募したのが統計調査に関わるきっかけでした。応募して間もなく、説明会があり、最初に従事したのは労働力調査でした。これまでの数々の調査を思い返しますといろいろなエピソードがあります。よくあったのが「国は何もしてくれないのに、何でこんなことをしなければならないんだ」と半分中腹で言われたことです。また、「本当に国の調査なのか」と信用してくれない方もいました。そのような方の近隣に、私の知っている学校の先生が住んでいた時は、お力添えにより、お相手に納得していただけるまで行きつくことができ、さらにその後は何かにつけて応援していただきました。よく相手の苦情や意見を受け入れてから説明していくと、ほとんどの方に納得・協力していただきました。辛いことの方が多い中、「大変ですね」「御苦労様です」

などのお声をいただいた時は、やって良かったと思えました。あつという間の 25 年でしたが、これからも依頼があればできる限り協力していく決意です。この度は経済産業大臣表彰をいただき、誠にありがとうございました。

(千葉県統計協会会長表彰 受賞者 稲坂 敏美 様より)

風は冷たいけれど快晴でおだやかな 1 月 23 日に、青葉の森公園芸術文化ホールにて式典は行われました。平成最後の年、重ねて統計協会創立 90 年の記念すべき式典に参列するという荣誉に少々緊張して出かけました。ホールに着きましたら胸に花をつけてもらい、晴れがましい気持ちになりました。多くの受賞者が名前を呼ばれ、知事をはじめ来賓の方々から祝辞をいただき、代表者が表彰状を受けられました。その後、受賞者を代表して山武市の金田さんが謝辞を述べられました。その中で「長く調査をやってきたが、始めた頃に比べ協力していただくのが難しくなってきた」との一言にとても共感しました。それでもこの表彰を機にもう少し頑張ってみようと心を新たにしました。最後に、色々とお世話をして下さいました市原市統計調査室の皆様感謝いたします。



(左から受賞者 3 名様)

平成 30 年度協議会研修会参加者様から

(牧 勝治 様より)

2 月 13 日の早朝、送迎バスにて市役所を出発しました。統計調査室長によるバス内研修の後、玉前神社を参拝し、次に一宮町役場にて 2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおけるサーフィン競技についての研修を受け、会場である釣ヶ崎海岸の見学を行いました。とても美しい海岸でした。その後、「南九十九里 白子温泉 ホテル白洋」



(一宮町役場にて)

にて懇親会があり、美味しい食事とカラオケ大会によってとても充実した時間を過ごしました。帰りは茂原市の「あらちゃん家」で土産物をたくさん買い、夕方、市原市役所に着きました。来年度もまた参加したい思いでいっぱいです。

(市野 孝次 様より)

『統計とは「集団における個々の要素の分布を調べ、その集団の傾向・性質などを数量的に統一的に明らかにすること。(広辞苑) またその結果として得られた数値。』統計を学問的に捉えたと世の中の仕組みの解析の基になる、基本の数値を調べ、それを人間が生きていく上の経済的・政治的な政策に活用することにより、より豊かな生活の仕組みを構築する手段である。』統計調査員協議会に関心を持ち、調査員として初めて従事したのは、国勢調査員として市津地区の一角を回り、個人宅を訪問させていただいた時でした。徒歩で個々の住宅を訪問し、居住者の方たちに直接お話を聞き、調査票に記入していただきました。地区によって訪問したお宅が年配者のみや一人暮らしの世帯が多々あり、高齢者対策や過疎化対策が急がれる地域が目につきました。家族構成の調査数値を活用し、早急に対策の手を打つ、基本的状況の把握が可能になることで、末端の調査員の努力に日の当たる結果が出ることを願い、これからも地道に調査業務に従事したいと思います。最後に、日々ご指導をいただいている調査室の方々に感謝いたします。

市統計調査室から

本年度も会員の皆様におかれましては、協議会活動はもとより、「平成 30 年住宅・土地統計調査」を始めとした各種統計調査に多大なる御尽力を賜りましたことを、心よりお礼申し上げます。さて、住宅・土地統計調査では「いつ訪問しても不在」「ポストが封鎖されていて投函不可」「近隣から聞き取りを試みても拒否される」などの御意見をいただきました。また、毎月勤労統計調査に端を発した一連の不正問題が国会等で取り上げられるなど、国民の統計調査に対する不信感が高まっております。このような中、来年度は、「工業統計調査」「経済センサス-基礎調査」「全国消費実態調査」そして調査員約 300 名規模となる「農林業センサス」の 4 つの基幹統計調査が実施されます。統計調査を取り巻く環境がより厳しさを増している中、誠に恐縮ではございますが、引き続き御協力くださいますようお願い申し上げます。最後に、まだまだ寒い日が続くと思われまますので、お体には十分お気をつけください。

～ 編集後記 ～

開会中の衆議院予算委員会はどこに？ (H31/2/18) 多くの国民に統計の重要さは周知された。厚生労働省の次々に出る「統計不正」の答弁に唖然！！それでも議員・役人の方々に任せねばならぬ辛い。児童虐待・高齢者等の対応に時間を費やして欲しいと願わざる負えない。